

教育研究所だより

平成21年11月12日 NO. 167 守山市教育研究所発行

守山市勝部三丁目9-1 (守山市生涯学習・教育支援センター 通称: エルセンター3・4階)

TEL 583-4217 FAX 583-4237

E-mail kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp

所長 寺町 卓

これからの中学校における「英語活動」に求められるもの

守山市教育研究会英語部会中学校部会長・守山市立守山北中学校教頭

園田 和美

中学校生活が始まった4月のある日、私は廊下で”Hello. How are you?”と声をかけられた。見れば真新しい制服が初々しい1年生の生徒だった。”Fine, thank you. How are you?” “Fine, thank you.” 彼女はにっこり笑い、「私、英語大好き。」と付け加えた。きっと小学校で本当に楽しく英語に接し、英語で意思疎通できることのすばらしさを体験してきたことだろう。彼女の眼差しが明るくいきいきとしていた。

教育研究所だよりで小中の連携の大切さについて述べられていたが、この期待に満ちた眼差しを裏切ることのないように、私たちは中学校の英語活動をどのように展開すればよいのであろうか。ここでは2つのことについて述べてみたい。

一つは、聞く・話す活動に、読む・書く活動を取り入れた「思考する」英語活動の充実である。思考に必要な単語は未習であっても活動の妨げにはならないし、むしろ、文の中で意味を類推することはコミュニケーションには必要である。個人またはグループでストーリーを組み立てる・犯人捜しをする等、中学生の知的好奇心や推理力をくすぐる場を設定することである。

二つめは相手の考えや自分の考えを既習の英語で表現する output 重視の活動である。『インタビューで得た相手の情報を説明したり、それに対して自分はどう思うかを表現したりする』『簡単なメモ

を英語でとる』『文として完成する』等、表現の幅を広げ、内容を高めていく英語活動の工夫である。これら2つの活動は、中学校では決して新しいものではないが、今後は楽しさや興味関心の質の高まりに期待したい。

また、中学校の英語では accuracy (正確さ) が要求される。授業を通してはもちろんのこと、ALT や英語教員が添削やチェックを細やかにを行い、正しい英文を生徒に繰り返させることで、より豊かで正確な英語の表現力を高めていくことができるだろう。そのためにも、ALT や英語教員の配置の充実が望まれる。



平成21年度の「教育研究所だより」では、『英語活動について』各分野の方々からご意見を賜っています。

研修講座受講者の感想から

教育相談研修講座Ⅴ「カウンセリングを学ぶ（8月10日）」

- ・カウンセリングや生徒との会話の中で、ついついこちらの意見を話していることが多くなっていたな、と今日の話聞いて感じた。しっかり相手の話を聴くことを大切に今日の研修を生かしたい。
- ・聞き方一つで、相手の気持ちが変わることがよく分かった。



郷土守山に学ぶ研修講座Ⅱ「守山の遺跡を巡る（10月1日）」

- ・守山にこんなに素晴らしい遺跡があるとは知らなかった。とてもいい体験をした。機会があればまた参加したい。

授業改善研修講座Ⅲ「基礎的基本的学力を身につける方策（8月4日）」

- ・新しい学習指導要領では「言語活動の充実」が大切だということで、授業においても友達の発言をしっかり聞き、自分の考えを述べることを意識させているつもりだったが、他の教科の話聞いて、もっと工夫していく余地があることを感じた。

授業改善研修講座Ⅳ「外国語活動を楽しもう（8月7日）」

- ・人数が少なくて「当てられたら嫌だなあ」と消極的に参加したが、話を聞いているうちに楽しくなってきた。”What am I?” やフルーツバスケットは小学校でも盛り上げてやっていきたいと思う。

くすのき教室から

「毎日、お昼はみそ汁作り！」



守山市の適応指導教室「くすのき教室」には、現在、小学生3名、中学生は11名の児童・生徒が在籍しています。しかし、実際に「くすのき教室」に通ってきているのは、小学生3名、中学生2名です。学校への復帰をめざして、各自の状況に応じて指導員の援助を受けながら、その日の計画を立て活動しています。教科の学習、卓球、ゲーム・・・いろいろな計画を立てます。クッキーやお菓子作りなどの調理も人気です。計画を立てる様子に、その日の心の状態をうかがい知ることができます。



くすのき教室では毎日、お昼のお弁当の時に一緒に食べるみそ汁を作ります。通ってきたみんなが参加し、季節の野菜などをきざみ、その日の人数に合わせて分量を決め、味付けもします。そういった活動を通して、昨日のこと、家族のこと、今思っていることなどいろいろな会話をします。ほんのちょっとした一言ですが、大切にしたい時間です。お菓子作りも含めて、調理の活動で「～をつくる」ことはもちろん、みんなに食べてもらい、「ありがとう」と言ってもらえる充実感を味わうことができます。

今日も、おいしいみそ汁がいただけると思います。

学校へ行きづらい、休むことが多くなってきたなど、子どもさんの不登校のことはもちろん、子育て等で悩まれた時は、お気軽にご相談ください。
TEL 583-4237

教育研究所の蔵書紹介

『

教育研究所では教育に関する本を中心に、皆さまにご覧頂ける書物・CD等を多数所蔵しております。今後、研究所だよりにより少しずつご紹介して参ります。1回目の今回は守山の民話に基づく紙芝居です。



- 「ゆうれいつぼ」 坂本まで送ったお礼に女の人からもらった壺の不思議なお話。
- 「おつぶさん」 野洲川の洪水からつぶえ蛸江神社のご神体を守ったのは、小さなツブたちでした。
- 「お満灯籠」 はっこうさん八絃山と結ばれるため夜の琵琶湖をわたるお満。今浜に伝わる切ない恋の物語。
- 「一本こうじ」 気は優しく力持ち。十二里に居たどえらい男の大活躍のお話。